

子育てをもっと楽しく！ママのための日本語サロン 活動報告⑧ 「子どもとのコミュニケーション② ～心の育て方～」

日時：平成 27 年 12 月 14 日（月）10:00～12:00

場所：刈谷市中央子育て支援センター

外部講師：かわのゆみこ氏（NPO 法人あっとわん代表理事）

日本語講師：岡部真理子氏

参加者数：【学習者】6名（中国4名、インドネシア2名）

【日本語パートナー】6名

託児スタッフ：2名（ママハウス）

<活動内容>

1. 自己紹介

- 自己紹介シートを互いに見せながら、グループで自己紹介

2. ウォーミングアップ

- 子どものしつけで「困っていること」や「知りたいこと」を各自で付箋紙に書く
- グループで共有
- 全体で共有

【困っていること】

- ・言うことを聞かない
- ・やんちゃ
- ・ダメという代わりにどう伝えたら良いか？

【知りたいこと】

- ・いたずらをしたら？
- ・何才から叩いてもいいか？
- ・家のしつけ
- ・イヤイヤ期を順調に過ごすには？

3. 子どもの心の育て方について

- かわの氏より、①子どもの行動と理由の関係、②ほめ方のポイントについてのお話

4. ふりかえりシート、覚えたい言葉シート、ポートフォリオ

- 日本語パートナーとともに本日の活動をふりかえり、それぞれのシート（資料1～3参照）に記入
- 学習者が本日の活動を通して「わかったこと」、「疑問点」を発表

【わかったこと】

- ・理由を考えて叱る
- ・ほめ方のポイント
- ・子供の立場や気持ちを考える
- ・行動と理由の関係について

【難しかったこと】

- ・どうやってしかるの？
- ・いつおこっていいのか？
- ・理由の見つけ方



<参加者の感想、疑問点、わかったこと>

【学習者】

- ・どんな言葉で叱ったらよいか
- ・子どものほめ方と叱り方がわかった
- ・行動には必ず理由がある
- ・家庭内にルールをつくるのが大事、しかもルールを変えない
- ・子どものことをほめる、叱る前に、子どもの気持ちを考えてから話しをする
- ・内容によってほめる方法を変えるのが難しい
- ・行動分析学を勉強したい
- ・子どもを叱るときはその場で？落ち着いてから？
- ・泣き止まないときにどうすればいいのか見つけるのは難しい

【日本語パートナー】

- ・日本人と外国籍の方が1対1で話せてよかった。質問ができたので良かった。
- ・子どもの叱り方、ほめ方は、国が違っても同じだと思った。
- ・みんな、ほめ方&叱り方に悩んでいることが、交流を通じて知れたことが良かった。
- ・パートナーが感じたことを一緒に共感出来て良かった。日本語学習者の方が積極的に質問して、いろいろな話が聞けた。
- ・コミュニケーションを密に取れるように心掛けた。

